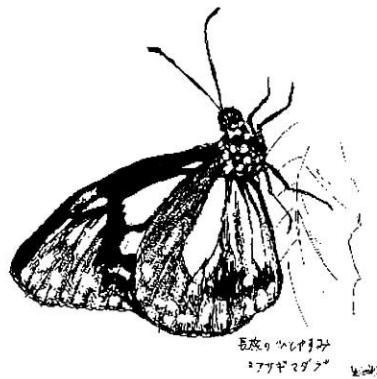


協議会ニュース 133号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2011.9



脇田 裕子 (名古屋支部)

あいちの自然観察会レポート (5/5名古屋)	新山 雅一P2	
あいちの自然観察会レポート (5/8知多)	島 烈P3	
あいちの自然観察会 レポート (5/14尾張)	大谷 敏和P4	
あいちの自然観察会 レポート (7/9西三河)	岩月 秀範P5	
あいちの自然観察会レポート (6/26奥三河)	森田 邦久P6	
自然観察会のヒント	尾張支部	高谷 昌志P7
私の活動紹介	尾張支部	鬼頭 弘P8
竹林調査票	P9	
第2回・第3回理事会報告	P10	
名簿/事務局より/あいち自然ネット総会報告	P11	
行事案内・竹林の分布調査・編集部から	P12	

レポート あいの自然観察会

神宮の森で自然と歴史にふれよう

名古屋支部 新山雅一

日時： 5月5日（木）9:30～12:00

天候： 晴れ

場所： 熱田の森

参加者： 10名

指導員： 12名

あいの自然観察会第1回目は、今年も名古屋支部が担当しました。観察コースは、高座結御子神社～断夫山古墳～白鳥公園です。

① 高座結御子(たかくらむすびみこ)神社

子育ての神様として幼児の成育と虫封じを祈願し15歳までの期間子供を預ける風習が東海地方一帯に広く知られています。境内の高蔵貝塚は、弥生中期の有形立壺や採文土器が出土し、考古学上貴重な貝塚として有名です。

ここでリーダーより、「クスノキは名古屋市の木でアオスジアゲハの食草である」との説明があり、同じクスノキ科のカゴノキと葉っぱの臭い比べをしました。カゴノキは貝塚や古墳のそばによく植えられたということで、鹿の子模様の特徴的な樹皮でした。

その他観察した植物

モチノキ・クロガネモチ・ウバメガシ

② 断夫山(だんぶさん)古墳

東海地方最大の前方後円墳（前方部の台形と後方部の半球形の2つの丘からなる墳丘）で平面形状は、鍵穴に似ています。全長151m・前方部の幅116m・高さ12m・後円部の直径80m・高さ13mを誇ります。

この巨大な古墳の2つの丘の頂上に登り、森の不思議な世界に入りました。

観察した植物



断夫山古墳

ヤマハゼの大木・アカメガシワ・ティカカズラ・紫色のフジの花・ホソバイヌビワ・アオダモの花・カクレミノ等

③ 白鳥公園

昨年度のCOP10会場でもあったこの公園を観察して、改めて国家戦略である「新たな脅威に関する保全の強化」・「すでに失われた自然の再生」・「持続可能な利用」ということを観察会終了後に考えていました。

別の観点からのんびりと観察して見ると、この都市公園での樹木の姿形も面白みがありました。

観察した植物

赤葉が混じるホルトノキ・白くて大きいトチノキの花・アメリカデイゴ・アコウ・ヒツツバタゴの白い花等

今回の観察会は国の史跡である古墳と、その古い歴史の中で育っている植物を見ることができました。その土地の歴史的な背景の中で自然を観察するという意味でも新しい発見があり、有意義であったと思います。また、昨年のCOP10を振り返りながら観察できたことで、印象に残る忘れられない観察会になりました。

レポート あいちの自然観察会

初夏の草花と花木を訪れる生きものを見よう

知多支部 畠 烈

日時： 5月8日

天候： 快晴

場所： 武豊町長成池公園

参加者： 22名

指導員： 6名

会場の長成池公園は武豊町の北西部、半田市に接した知多半島中央丘陵にある。知多で二番目に大きい農業用ため池を利用した親水公園で、近年愛知県の「農村自然環境整備事業」によって一部に木製デッキや葦原などが設置され、住民の憩いの場となっている。近くには「壱町田湿地植物群落」(県天然記念物)もある。

快晴微風の観察絶好の日。予想最高気温は28°C。そんな中、開始10分前ともなると、タモ網と虫かご、中には図鑑まで手にした親子連れが幾組も参集。

「あいちの自然観察会である」と前置きし、開会挨拶と事故防止の注意事項を話して観察会に入った。

まず原指導員が、昨年ここで観察した植物・昆虫について資料を配布して説明。そしていざ出発。

センター広場にはタンポポとシロツメクサが一面に咲き、広場の縁には色とりどりのつつじが咲いていて見事な花園。タンポポはすべてがニホンタンポポであり、ここには外来の進入がまだないことに気持ちが救われる。花の指輪や髪飾りを作つて子どもたちにプレゼントすれば、満面の笑顔で早速かざつて大喜び。シャッターの音、しきりとなる。

大樹となったヤマモモの雄木やクスノキ、クロガネモチ、サクラ。と、サクラの太い幹に毛虫が7、8匹もごもご動いている。少年が手にとった。



それをみんなで見る。その毛虫はオビカレハの幼虫。薄青色の地に黒と橙色の縦縞があつてなかなかのオシャレに一同感心。

池の堤を進むと2~3m²の薄紫色のマツバウンランの群落、黄色のニガナ、ジシバリの群落、さらにスズメノヤリの群落が続いた。

堤の終点あたりのニセアカシアの梢ではコグラが盛んに枝をコツコツ。双眼鏡を出して見た人が「あっ！エサを食べた」の声。皆さん一斉にコグラに注目し、逆さまに止まつたりしてせわしく動くその姿を追つた。

折り返して今度は池の縁を西方へ。藤の花の甘い香りにクマバチやハナムグリが飛来し、アゲハやアオスジアゲハも飛んでいる。

設置された木製のデッキをゆっくり進むと、5メートル程先に岸辺に上がつて堂々と草を食つてゐるヌートリアに遭遇。口の周りの長く立派な何本ものひげまでよく見える。面長の顔はネズミそっくりだ。さらに近づいたところ、やつとのそりと水中へ。顔を上げて葦の間を器用に泳いで行った。

多くの虫やチョウに会え、きれいなかわいい野の花とともに楽しい体験ができた一日だった。

レポート あいの自然観察会

水辺の生き物

尾張支部 大谷 敏和

日時：5月14日

天候：晴れ

場所：定光寺公園

一般参加者：13名（内、こども6名）

指導員：10名

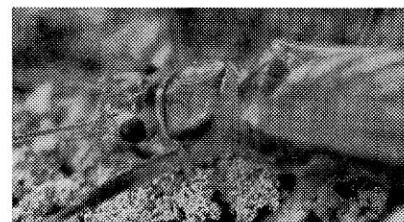
今回は協議会「あいの自然観察会」に位置づけられた。他支部からの参加も多く、観察指導員の観察眼で多くの種類の水生昆虫とその成虫、ヤゴの脱皮を見つけることができた。観察会といえば歩きながら生き物を見つけるのを見つけるのが一般的である。が、ここ定光寺では子どもたちが水の中に入り石をひっくり返したり草の中をガサガサしながら生き物を見つけて観察する方法をとっている。歩いて生き物を見つけることはあまり興味を示さず、ガサガサ遊びをしながら何か生き物を見つけると、それから川の環境について考えさせている。こんなところでこんなに生き物がいるなんてと驚いた指導員もいた。どこをどう探せば何が見つかるかを学んだ半日であった。

水の中の生き物 フタツメカワゲラの成虫 フタモンカゲロウ成虫も チラカゲロウ ナミヒラタカゲロウ マダラカゲロウの仲間 トビケラの仲間 アメリカザリガニ スジエビ（卵） コオイムシ（卵） ギンヤンマのヤゴ オニヤンマのヤゴ コシボソヤンマのヤゴ ダビドサナエのヤゴ サワガニ ドジョウ ヨシノボリ オイカワ カワムツ モツゴ メダカ カワニナ

花 カタバミ シロツメクサ トウカイタンボポセイヨウタンボポ ニワゼキショウ ハルジオンヒメジョオン ムラサキサギゴケ ミツバツチグリ キショウブ カキツバタ ハルガヤ スイバツボスミレ シロツメクサ キュウリグサ ブタナ ニガナ ホオノキ モチツツジ



コオイムシはこの環境にいるんだ



フタツメカワゲラの仲間 幼虫と成虫

昆虫 シオカラトンボ(オス・メス) シオヤトンボ モンキアゲハ ベニシジミ ヤマトシジミ ヒメウラナミジヤノメ モンキアゲハ ベニシジミ アゲハ クロアゲハ ムラサキシジミ カワトンボ ヤマサナエ コアイハナムグリ オケラ ヨコズナサシガメ ダイミョウセセリ
鳥 カツブリ カワウ オナガガモ カワセミ サンショウクイ キジバト ツバメ ヒヨドリ
声 メジロ コジュケイ ウグイス コゲラ シュウカラ
他 アマガエル ゴミグモ

レポート あいちの自然観察会

梅雨時のキノコの観察

西三河支部 岩月 秀範

日時：7月9日

天候：晴れ

場所：松平郷（豊田市）

参加者：6名

指導員：7名

梅雨時のキノコ

7月9日のキノコの観察会に参加しました。前日に東海地方以西の梅雨明けが発表され暑い日でした。観察会の行われた松平郷は標高300m程度なので涼しくはなく、気温は30℃を軽く超えていたようです。

キノコは秋に発生が多いようですが、梅雨の後でかなりのキノコが見られました。今回はキノコ狩りではなく、菌類の胞子を生産するものという観点からきのこを見て廻りました。

観察会は駐車場から遊歩道を登って展望テラスで休憩し、少し南側の林道を松平城址の横を通って帰ってくるコースで行われました。

イラストと实物で解説

展望テラスまでは、主に林の中のキノコ、帰りは道際のキノコと言う具合でした。

私のメモに残っているだけで、42種類を観察しました。講師の木村修司会員のイラストを利用した分かりやすい解説を聞きながら写真をできるだけ撮る様に心がけました。

今回の観察会では、講師の木村会員はすぐ同定してくださるので楽なのですが、自分で名を調べるとなると大変です。ほとんどの場合、種名まで同定するにはいたりません。

今回の経験を生かし、少しでもキノコの世界に足を踏み入れたいと思います。



▲ 当日の観察会



▲ 採取したキノコ

レポート あいちの自然観察会

乳岩峡の自然

日時： 6月26日（木）10:00～12:00

天候： 晴れ

場所： 新城市河合 乳岩峡

参加者： 14名（うち指導員 11名）

奥三河支部では、新城市河合の乳岩峡を会場に、「あいちの自然観察会」を行いました。

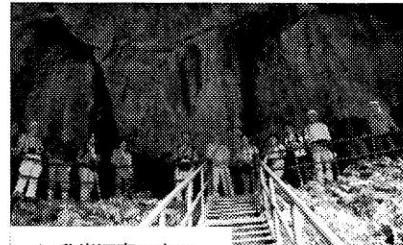
JR三河川合駅を集合地とし、日本の清流百選にも選ばれている宇連川の支流（乳岩川）に沿って、乳岩までの約3.5kmのコースを、往路は植物の植生、復路は流紋岩などの地質を主体に観察しました。

駅から耶馬瀬橋までのスギ林の林床には、コンテリクラマゴケの群生が目につきました。栽培されていたものが逸出し繁殖したのではないかと考えられます。また、1週間前の下見では、ササユリの花もたくさん観察することができましたが、当日はほとんど散ってしまい見ることはできませんでした。オオバノトンボソウ、イワナンテン、クルマバハグマなど、この地域特有の植物もたくさん観察できました。

宇連川（乳岩川）は河床が板を敷いたように滑らかな所がたくさんあり、板敷川とも呼ばれています。これは流紋岩の特徴のようです。このあたりの岩石は、流紋岩と凝灰岩などの白っぽい石が多いようです。当日は梅雨の時期でとても滑りやすく、転倒に注意しながら進みました。途中岩盤の割れ目にマグマが侵入してできた安山岩の岩脈も観察することができました。

湿気の多い場所には、モウセンゴケが群落をつくっていました。和紙の原料と

奥三河支部 森田 邦久



▲ 乳岩洞窟の中で



▲ ウチョウラン

なるガンピもちょうど花の時期で、何か所も観察することができました。この近くの小学校ではこのガンピを使って和紙をすき、卒業証書を作っているようです。

カルシウム分の多い凝灰岩は溶食（註：水の化学的浸食作用をいう）されやすく、洞穴部に鍾乳石状のものを作っていることが、乳岩の名前のいわれのようです。昭和9年に名勝及び天然記念物に指定されています。湿気が多くむつとする洞穴の中で、エコーの効いた指導員の説明を聞きました。乳岩から戻る階段わきには、クマヤナギが赤い実をたくさんつけていました。また、岩盤のわずかなくぼみに自生する可憐なウチョウランも見ることができ、カメラのシャッターの音が続きました。

都会から遠い奥三河での自然観察会のためか、参加者は若干少ないよう感じますが、愛知県の恵まれた本物の自然を充分堪能できたのではないかと考えています。



自然観察のヒント

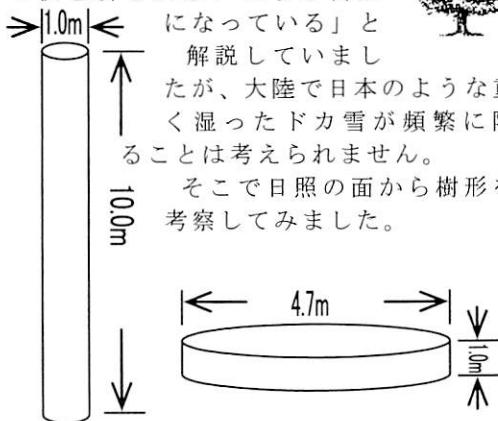
樹形の「本当の」理由

尾張支部 高谷昌志

「気になる木」のCMで有名なハワイのモンキーポッドのように、熱帯の樹木は枝を横へ横へと広げようとします。対してシベリアやアラスカなどの針葉樹は、エントツのようなスリムなデザインです。

以前テレビの自然番組で「トウヒなどの針葉樹は雪の重みで枝を折られないような樹形になっている」と解説していましたが、大陸で日本のような重く湿ったドカ雪が頻繁に降ることは考えられません。

そこで日照の面から樹形を考察してみました。



■高緯度の日照と樹形

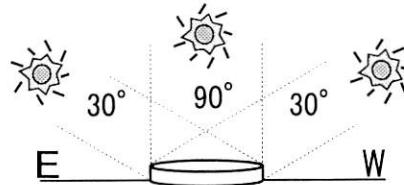
上の図は表面積を同じ（底面は入れず）にした二つの円柱です。寒帯のトウヒおよび熱帯のモンキーポッドをシンプルにしたものと思ってください。これらを北極近くの高緯度に置いて夏の太陽を一日照らしてみましょう。

極端に太陽が24時間地平線すれすれをぐるりと回る「白夜」を想定すると太陽光は円柱の側面だけを照らし続けます。すると受光面積は側面積の比になり計算も楽で、トウヒはモンキーポッドの2.1倍の日照を受けることができました。

■低緯度の日照と樹形

次に、二つの円柱を赤道上に置いてみましょう。6時に真東から登った太陽は12時に天頂を通って18時に真西へ沈みます。

これは計算が難しいので、昼の時間を3等分して角高度30°の太陽（8時と16時）を8時間、角高度90°の太陽（12時）を4時間照射してみました。これでもサイン・コサインなど結構大変だったですが、その結果モンキーポッドはトウヒの2.3倍の受光量がありました。



計算式を載せておきますので、数学が得意な人は挑戦してみてください。

モンキーポッド

$$\{4.7 \times 1.0 \times \cos 30^\circ + (4.7/2)^2 \pi \times \sin 30^\circ\} \times 8 + (4.7/2)^2 \pi \times 4 \approx 172 \text{ m}^2 \cdot \text{h}$$

トウヒ

$$\{1.0 \times 10.0 \times \cos 30^\circ + (1.0/2)^2 \pi \times \sin 30^\circ\} \times 8 + (1.0/2)^2 \pi \times 4 \approx 75 \text{ m}^2 \cdot \text{h}$$

■考察

今回は、私が以前からの直感を数量化してみたのですが、その結果は高緯度ではトウヒ型、低緯度ではモンキーポッド型が有利であることを証明できるものでした。

もちろん密林の中では樹木は枝を広げられず、ユキツバキは積雪に抗うことをやめて枝を横に這わせるなど、自然界には樹形に影響を及ぼす様々な要因があります。

しかし、「日照」は最大級の要因であり、樹形の「本当の」理由と言っても差し支えないのではと思います。

私の活動紹介



尾張支部 鬼頭 弘

1. 指導員登録の動機

今から30年ほど前、1980年頃、フロンガスなどによるオゾン層の破壊や地球温暖化、酸性雨、森林破壊、野生生物の絶滅危惧などが大きく取り上げられるようになりました。地球環境の危機が叫ばれていました。自然環境の悪化は見過ごせることではなく、自分にできることは何かと考えていた時に自然保護協会の講習会の存在を知り、初めてずくめの体験をして指導員登録をしました。

2. 活動の経緯

当時は自然観察指導員の腕章が指導員グッズとしてありました。でも、講習会を受けてすぐに腕章を付けて観察会をするなどとてもできることではありませんでした。ちょうどその頃息子たちが小学生の野球のチームに入りその手伝いを始めることになり、その後10年ほどは支部主催の観察会に時々出席する程度でした。

1994年になって、生物の移り変わりの様子を知るには同じ場所で続けて観察することが必要だと感じ、森林公園自然観察会を始めました。その後2000年からは日進岩藤川自然観察会を、2002年からは東郷町のグリーンベルト自然観察会を始めました。この頃から地域の自然を考え、地域へ発信しようという活動が加わりました。

日進市の東部丘陵で観察会を始めた頃、土砂流出防備保安林である東部丘陵が鉱山開発の危機に見舞われることが分かりました。観察会を

したり図書館などで岩藤川沿いの自然の紹介などをしたりしながら同じ危機感を抱く人たちとトラストの会に参加し、保安林解除をしないよう行政に働き続けました。10年後の昨年、林野庁が日進東部丘陵の保安林解除はしないという決定をし、一応の決着を見たところです。しかし市の財政は厳しく、保安林の公園化計画はなかなか進まないのが現状です。

東郷町の自然は単調ですが、境川を中心に活動するグリーンベルトを考える会に参加して、観察会を行いながら生物が増えるような環境作りを考えました。しかし行政サイドと市民サイドの考えの違いが浮き彫りになり、力不足で当初の目的を果たせず10年目を迎えました。

これまで尾張支部や協議会の活動で多くのことを学ばせていただきました。おつきあいいただいたの方々に厚くお礼を申し上げます。

3. とっておきの観察道具

時計用ルーペ・・・今は希少になった透明なフィルムケースの口にすっぽりとまります。底にあるものにはぼピントが合うので小さな生物の観察に重宝しています。

4. 夢の観察会

住まいの近くに自然度の高いフィールドがあれば最高です。そこで自由に、じっくり自然に向き合う観察会ができればと思います。

愛知県自然観察指導員連絡協議会 竹林の分布調査(2011) 記録用紙

調査者

調査日 2011年 月 日 調査票No.

タケの種類	竹林の位置(市町村・大字、字や丁目まで)	竹林の状態	世界測地系緯度	世界測地系経度
			N °, ' "	E °, '
			N °, ' "	E °, '
			N °, ' "	E °, '
			N °, ' "	E °, '
			N °, ' "	E °, '
			N °, ' "	E °, '

竹林の状態	竹の種類
人為的な管理状況	モウソウチク 節の輪が一重。 筍の皮にインクが飛び散ったような黒点は無い。
立ち枯れた古材が無い程度に間伐、管理されている。	マダケ 節の輪は二重。
管理放棄。密生して立ち枯れた材が多数ある。	ハチク(幹が黒いクロチクを含む) 節の輪は二重。 筍の皮は模様がない。枝の第1節は中空。
密度と周囲への侵出	
竹林の中をストレスなく歩ける。周囲への侵出はない。	
周囲へは侵出していないが、密度が高く中を歩きづらい	
密生して見通しが悪く、周囲への侵出が見られる	

世界測地系緯度経度の調べ方:国土地理院(GSI)のHPで、2万5千分の1地図を出し(ウォッズ地図)、中央の十字マークを目的の地点に合わせ

第2回理事会

日時：5/5(木・祝)13:30~16:30

場所：名古屋市音楽プラザ

出席者：松尾、降幡、大谷、浅井、石原、近藤、
辻、石田、布目、永田、石川、吉田、
瀧崎、齋竹、滝田、三田

記録：石原

議案1) 自然観察指導員講習会

- ① 日時：9/17(土)、18(日)、19(月)
9:00~18:00 (延長及び短縮可)
- ② 場所：地球市民交流センター
愛・地球博記念公園（モリコロパーク）内

議案2) タケの調査（調査担当 瀧崎理事）

現在県内に竹林がどの程度、どのような状態で広がっているのかをモニタリングすることは、県の自然環境を保全していくうえで意義がある。県内の竹林の分布と現状を把握する調査を実施し、3年間でまとめたい。調査方法など後日連絡がある。

議案3) 創立30周年記念事業、新指導員歓迎会、 協議会の日について

11/23 実施にむけて、スケジュール調整、基調講演、演題などについて検討を行った。

議案4) 各理事の役割分担の事務経費について ・「調査」項目を追加する。

議案5) その他

- ・会計担当の石田理事より、経理規定の見直し。
- ・編集担当の近藤理事より、行催事などの掲載都合によりNo.133号を9月1日発行に変更の申出あり。各理事からは異議がなく、承認された。

第3回理事会

日時：7/18（月・祝）13:30~17:00

場所：刈谷市産業振興センター

出席者：松尾、降幡、大谷、浅井 石原 石川、
吉田、近藤、辻、布目、永田 森田、
齋竹、滝田 三田、星野、小山

記録：吉田

議題1) 30周年記念行事について

前回の理事会で未決定部分などの検討を行った。

・創立30周年記念講演

演題：「身近な自然を残すために」

講師：廣瀬光子氏（チラシに顔写真挿入）

・参加申込用紙について

- ① 協議会ニュースの中にチラシを同封する。
- ② 「各支部連絡先は6支部支部長の連絡先を掲載する。」

③ 新自然観察指導員歓迎会について

本年の新加入者のみならず 22年度の新加入者も対象となる。

議題2) 自然観察指導員講習会

- ・9/18 地元講師の確認
- ・9/19 観察会指導講師の確認
- ・講習会下見として、8/20、21を予定
- ・9/18「情報交流」の時間は、講習参加者との交流の場なので、各支部の参加を呼びかける（協議会と支部の紹介を実施）

議題3) その他

・奥三河支部の件

支部存続のために、入会希望者募集中。

会費3,000円、総会でシシ肉食べられるメリットあり。

・尾張支部開催「がさがさ探検隊」

あいち自然ネット主催行事、第3回「いきものたんけん隊」の「がさがさ探検隊」を定光寺にて実施。参加者の募集を呼びかける。

- ・8/27・28 協議会 佐久島研修会（西三河支部）への参加呼びかけ。
- ・竹の調査の調査票を次回協議会ニュースに同封する。

下記、愛知県自然観察指導員連絡協議会HPに掲載中。調査票のダウンロード可能。

<http://naichi.net/take/t-chousa.html>

- ・協議会名簿の正誤確認、各支部に確認依頼。
- ・各地の自然についての情報交換

<< 名簿についてのお知らせ >>

■会員名簿の訂正とお詫び

前号(132号)に同封の「会員名簿」に一部誤り及び記載漏れがありましたので、下記の通り訂正・加筆をお願いします。該当会員の皆様にはお詫び申し上げます。また住所変更の連絡がありましたので併せて記載します。

②正誤表

37 岩沙雅代：シイイホームズ → シティホームズ

52 大久保恭子：321-506 → 321-309

191 滝宏志 → 191 滝 宏志

248 林尊宏 → 248 林 尊宏

249 林英明 → 249 林 英明

250 林文夫 → 250 林 文夫

顧問 大竹勝 → 368 大竹 勝

③追加加筆

皆川 泰雄

464-0082 名古屋市千種区上野3-20-4

(052) 712-4151

藤井 保人

452-0821 名古屋市西区上小田井2-336-1

なごやセントポーリア 203

(052) 503-1765

小塚 達也

464-0804 名古屋市千種区東山元町1-37-2

(090) 3935-6941

④住所変更

篠田 陽作

466-0059 名古屋市昭和区福江2-5

ジャルダン白金公園3-701

尚、会員名簿(原簿)は常に更新致しておりますので変更等がありましたら、各支部長経由にて名簿管理担当(森田)までご連絡下さい。

(名簿担当理事：森田)

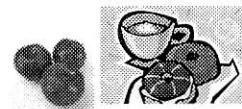
<< 事務局からのお知らせ >>

■自然観察指導員講習会について

自然観察指導員講習会が9/17～9/19、愛・地球博記念公園で開催されます。この件につきまして以下2点をお伝えします。

①2日目の9/18(日)13:30～14:30は、「地域の活動紹介と情報交換」の時間です。当会、各支部、各観察会の案内をします。資料等の配布希望者は、事務局まで送付ください。net原稿も受付可能です。

②同日の夕方18:00～19:00、講師を交え、受講者、当会会員の交流会を企画しています。新たな指導員となる面々と一緒に情報交換、歓談の希望者は事務局までご連絡ください。当日、飲み物、食べ物などの差し入れ大歓迎！



■11/23(祝・水) 30周年記念行事

同封の案内チラシの通り、さまざまな企画をしています。会員のみなさまの参加をお待ちしています。

(事務局：浅井)

あいち自然ネット定期総会 於「二ツ池セレトナ」

副会長 降幡 光宏

平成22年度の総会が4月16日(土)大府市の「二ツ池セレトナ」で開催された。愛知県自然観察指導員連絡協議会も当初から加入しているので、複数名が出席した。以下報告。

最初に、東日本大震災の被災者への黙祷が行われた。その後、宮永会長のあいさつがあり、議事に入る。議案はすべて原案通り可決された。

役員人事について審議され、副会長の後任が選任された。

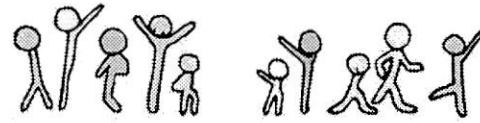
総会終了後は、交流会が行われた。関連行事として「自然の中でYOGA～ヨガ～」と「二ツ池セレトナ・ウォークラリー」が実施された。参加者が和気あいあいで楽しんだ。

※参考 「あいち自然ネット(正式名称=あいち自然環境団体・施設連絡協議会)」は、平成19年12月22日に設立された、愛知県内の自然環境団体・施設が自主的に活動する連絡協議会。

<< 行事案内 >>

■創立30周年記念事業

愛知県自然観察指導員連絡協議会は、1981年に発足しました。このたび30周年を迎えたことを記念し、11/23(木・祝)に創立30周年記念事業及び新指導員歓迎会を開催します。



愛知県で1980年、県内ではじめての自然観察指導員講習会が催され、その有志を中心に会が組織されました。発足当時は60名だった会員も今では400名近い大所帯となりました。発足当時の会員の方々から、その当時の会の様子、自然環境の話などを伺うことができるでしょう。思いがけないエピソードも飛び出すかもしれませんね。

折込の案内にありますように、講演会、新指導員歓迎会&食事会、記念パーティー、見学会と盛りだくさんの企画となっています。

新旧さまざまな会員との出会いが待っています。是非参加を！

■理事会

日時：10/29(土)13:30～16:30 創立30周年記念事業最終確認など

場所：岩倉市生涯学習センター 名鉄「岩倉」駅下車徒歩3分

<< 竹林の分布調査 >>



前回「協議会ニュース」No.132 p8、9でお知らせした竹林の分布調査の調査表をp9に掲載しました。同ページをコピーの上、活用ください。また調査表は、愛知県自然観察指導員連絡協議会HP（下記参照）よりダウンロードができます。

<http://naichi.net/take/t-chyousa.html>

調査表は、郵便または下記Eメールで調査担当：瀧崎 理事に送付ください。

Eメール：takizaki@tree.odn.ne.jp

編集部から

■今号No.133は、記念事業の詳細告知のために1ヶ月遅れの発行となりました。■次号No.134の発行につきましても、事業報告のレポート原稿を速やかに収集・印刷出来次第、発行予定。ご理解、ご協力くださいませ。
■次年度の表紙のイラストを担当してくださる方を募集中です。自薦、他薦を問いません。編集部までお知らせください。

編集スタッフ

岡田 雅子 近藤 記巳子
新山 雅一 山口 健

発送スタッフ

岩沙 雅代 横井 邦子

「協議会ニュース」編集部

〒457-0006 名古屋市南区鳥栖2-6-17

桜本町CH 101

近藤 記巳子

TEL / FAX 052-822-7460

E-mail : konkimi@nifty.com

■ 愛知県自然観察指導員連絡協議会（あいち自然観察会）事務局

〒486-0904 春日井市宮町3-6-2 Tel 0568-32-5069 松尾 初

■ Web Page : <http://naichi.net/>

■ 郵便振替口座：00820-9-6546（名義：愛知県自然観察指導員連絡協議会）